

ナイアシン150



ニコチンアミドとニコチン酸の総称がナイアシンです。その補酵素型 (NAD⁺、NADP⁺) は、酸化還元酵素の補酵素として500種 (全酵素の20%相当) もの反応に関与し、反応の基質としても作用しています。またニコチン酸には独自の生理作用があり、医薬品として脂質異常症の改善や虚血性心疾患の予防、糖尿病の治療に臨床応用されています。本製品はナイアシンアミドを主成分としており、服用後のホットフラッシュが起きにくくなっています。

こんな方にお勧めします

- ▶ 疲れやすい方
- ▶ 不安、不眠、うつなどでお悩みの方
- ▶ お酒をよく飲む方
- ▶ 頭脳労働でお疲れの方
- ▶ 甘いものがやめられない方
- ▶ 糖尿病が心配な方
- ▶ 虚血性疾患の予後の改善 など

ナイアシンと精神症状

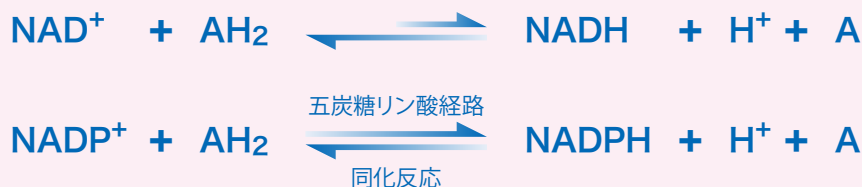
1960年代 カナダの精神科医であるエブラム・ホッフアーは、統合失調症に対するナイアシン補充療法について二重盲検試験を行い有効性を示しました。ナイアシンは、感情のコントロールに関係する多くの神経伝達物質の生合成の重要な反応に関与する因子です。また神経細胞におけるミエリン形成にも必要不可欠です。これらのことは、うつや不安だけでなく幻聴などの精神症状への栄養アプローチでナイアシンの補充が必須であることを示します。

Topics

～代表的な酸化還元酵素とその補酵素型～

- アルコール脱水素酵素 (NAD⁺)
- 乳酸脱水素酵素 (NAD⁺)
- TCA回路の脱水素酵素 (NAD⁺)
- ピルビン酸脱水素酵素 (NAD⁺)
- 脂肪酸β酸化 (NAD⁺)
- 五炭糖リン酸経路の脱水素酵素 (NADP⁺)
- 脂肪酸合成酵素複合体の構成要素 (NADP⁺)
- DFH還元酵素 (NADP⁺)

NAD⁺とNADP⁺の酸化還元反応



原材料

ナイアシンアミド、セルロース、ステアリン酸カルシウム、シェラック、クエン酸、ビタミンB6、ビタミンB1、ビタミンB2、カルナウバロウ、乾燥パン酵母、菜種硬化油、ウコン末

標準成分<1粒 (250mg) 中>

ナイアシンアミド 150 mg
 ビタミンB1 0.09 mg
 ビタミンB2 0.09 mg
 ビタミンB6 0.2 mg
 トリペプチド 0.3 mg

サプリメントハイライト

ナイアシンアミドを主成分として、その生体内利用に欠かせない、ビタミンB群 (ビタミンB1、B2、B6) を組み合わせた、高用量摂取タイプのナイアシン補給食品です。ナイアシンアミドは、強い苦味があり、誤って嘔むと不快感を与えるため、シェラック、カルナウバロウでコーティングし、にがみをマスキングしています。セルロース食物繊維で成型された、吸収・消化に優れた製品です。